

I 目指す学校像（基本理念）

「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校

- 自ら学び、判断し、行動する生徒の育成。
- 思いやりの心と規範意識を持ち、社会に貢献する生徒の育成。
- 専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒の育成。

II 現状と課題

- 1 保護者の本校に対する一番の期待は進路保障であり、教員は進路ガイダンスや就職先の開拓等に精力的に取り組んでいる。しかし、基礎学力が十分定着していないために就職試験に不合格になる生徒もあり、基礎学力の定着が喫緊の課題となっている。
- 2 興味・関心の持てる授業づくりをすすめているが、生徒の学力の幅が大きく、中には授業に集中できない生徒もいる。わかりやすく、生徒が魅力を感じる授業づくりに向けて、更なる授業力の向上が求められている。
- 3 外国にルーツを持つ生徒や発達障がいのある生徒など、多様な生徒が在籍しており、きめ細やかな教育相談や家庭訪問を行うとともに、生徒の人権感覚を磨いていく必要がある。
- 4 全ての生徒がすべての分野の実習を体験できることは強みではあるが、反面、専門知識・技術の習得のための期間が短くなってしまいう課題がある。
- 5 学科間連携や地域との協働の取り組みはすすんできているものの、工業・農業（家庭）・商業・福祉という他にはない幅広い学科を有する学校としての強みを十分に活かすには至っていない。
- 6 多くの学科があることが全教職員の意志統一や情報共有を困難にしており、風通しの良い職場づくりが課題となっている。また、地域に向けてホームページやマスコミを活用した情報発信を行っているが、まだまだ伝えきれておらず、更なる情報発信が求められている。

III 中長期的な重点目標

- 1 自己の興味・関心や適性に合った進路を選択し、その実現に向けて、社会で求められる基礎学力、専門知識・技術とともに、社会的マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成する。
- 2 検定合格や資格取得、部活動における成果等を通して、生徒の自信とやる気を引き出し、自己実現に向けて努力する生徒を育成する。
- 3 生徒の悩みに寄り添い、きめ細やかな教育相談を行うとともに、教員・生徒の人権感覚を磨き、思いやりの心を育てる。
- 4 学校の教育資源を地域に還元するとともに、地域の教育力を活用し、地域の活性化に貢献できる生徒を育成する。

IV 本年度の行動計画

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 自己の興味・関心や適性に合った進路を選択し、その実現に向けて、社会で求められる<u>基礎学力や専門知識・技術</u>とともに、社会的マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成する。 |
|---|

(基礎学力)

◎「国語力・数学力・英語力を基本に、各教科・学科で、生徒に身につけさせるべき基礎学力の定義（内容）と取組方法を明確にする。それらのうち、本年度すぐに実施できるものは実施する。

（取組状況の指標：各科の基礎学力の定義と指導方法が明確になっている）

（達成状況の指標：基礎学力測定テストの偏差値平均が昨年度より3ポイント以上上昇している）

(社会的マナー)

◎来客に対する挨拶や学校外へ出た時のマナーを徹底する。

（取組状況の指標：登校時の声掛け運動が毎日行われている。校内外のマナー指導が適宜行われている。）

（達成状況の指標：来校者への挨拶の徹底度、来校者からの評価、デュアルやインターンシップ先の事業所からの評価を指標とする）

(進路指導)

◎進路に関するガイダンスや相談、情報提供及びキャリア教育を充実させ、早い時期から自己に適した進路を主体的に選択できる力を養う。

（取組状況の指標：学年別進路ガイダンスが適宜開催されている

生徒が企業の方や社会に出た先輩の話を聞く機会がある

「進路だより」等によって生徒や保護者に情報が十分提供されている）

（達成状況の指標：進路指導に関する生徒の満足度が昨年度より上昇している）

◎進路希望実現に向け、事業所訪問や求人開拓、大学訪問等に力を入れる。

（取組状況の指標：事業所への訪問数が昨年度を上回っている）

（達成状況の指標：学校斡旋を希望する生徒の内定率100%、進学希望者の100%希望実現）

2 検定合格や資格取得、部活動における成果等を通して、生徒の自信とやる気を引き出し、自己実現に向けて努力する生徒を育成する。

(指導力向上)

◎教員相互の授業見学や授業研究を通して、「わかる授業」「魅力ある授業」を構築する。あわせて授業規律を徹底する。

（取組の指標：公開授業に100%の教員が参加している

各教科における1回以上の研究協議が実施されている）

（達成状況の指標：授業に関する生徒満足度が3%以上上昇している）

(検定合格・資格取得)

◎資格取得や検定合格に向けての支援を強める

（取組状況の指標：検定対策として勉強会や補習が実施されている）

（達成状況の指標：検定や資格の合格数が昨年度より増加している）

(部活動)

（達成状況の指標：昨年度より5%以上多くの上級生が部活動を続けている
部活動に関する生徒満足度が70%以上である）

3 生徒の悩みに寄り添い、きめ細やかな教育相談を行うとともに、教員・生徒の人権感覚を磨き、思いやりの心を育てる。

(相談活動・家庭訪問)

- ◎生徒の小さな変化を見逃さず、悩みに寄り添った教育相談や家庭訪問を行う。
(達成状況の指標:教育相談に関する生徒満足度が昨年度よりも上昇している)

(人権学習)

- ◎課題となっていることをテーマとした人権LHR等を通して生徒の人権感覚を高める。
(取組状況の指標:人権学習や人権講演会を年間3回以上開催する)
(達成状況の指標:人権学習に関する生徒満足度が昨年度よりも上昇している)

(働きやすい職場づくり)

- ◎総勤務時間の縮減や休暇の取りやすい職場づくりに取り組む。
(達成状況の指標:教員満足度が昨年度より3%以上上昇している)
- ◎風通しのよい職場づくりに取り組む。
(達成状況の指標:昨年度に比べ情報共有が進んでいると教職員が感じている)

4 学校の教育資源を地域に還元するとともに、地域の教育力を活用し、地域の活性化に貢献できる生徒を育成する。

(学科間連携・地域連携)

- ◎生徒が地域に出て学ぶ機会や地域の方の校内での指導の機会を増やす。
(取組状況の指標:地域と連携した取組が昨年度以上に行われている)
(達成状況の指標:生徒の満足度の上昇及び地域の評価を指標とする)

(情報発信等)

- ◎学校の取り組みや生徒の様子などを保護者や地域に発信するとともに、要望や意見を聞く機会を設ける。
(取組状況の指標:ホームページが頻繁に更新されている
自治会だよりが年間4回以上発行されている)
(達成状況の指標:昨年度より多くの方がホームページにアクセスしている)
- ◎生徒が保護者や地域に向けて学習成果を公表できる機会を設ける。
(取組状況の指標:「白鳳Cafe」や実習製品の販売、展示等の機会を年間4回以上開催する)
(達成状況の指標:イベント等への参加者の数や満足度を指標とする)